

国産レモンの産地化・販路拡大等により所得アップ

【令和3年度補正】

温州ミカンからレモンへ（新たな特産品を産地化した事例）

中山間地域所得確保推進事業

地区概要

【地区名】 白岩地区（佐賀県白石町）

【現況】 ・本地区は、温州ミカンの産地であるが、高齢化や後継者不足により農業の継続が難しくなっている。また、有害鳥獣被害も深刻化しており、営農の意欲低下の原因の1つとなっている。
・病気に強く、大きさや果皮の薄さが特徴のレモンの新品種である「璃の香（りのか）」を地域の新しい特産品として栽培し、販路拡大等により農家所得向上を図る。



①生産・流通調査の実施

青果と加工品の両方を販売するルートの確立に向けた調査を実施。



②加工品の商品化に向けた検討

璃の香の果肉や果皮を粉末加工し、お菓子やドレッシングなどの商品化に向けたアンケート調査を実施。



③青果のマーケット調査の実施

九州内外の販売店などを対象にマーケット調査を実施。また、販売価格設定の検討も実施。



調査・検討・実践

取組の成果

令和6年度の「璃の香」の販売額は1,970千円となっており、現況値の662千円から販売額が大幅に増加（298%増）している。

現況値(R4)	目標値(R6)	実績値(R6)
662千円	729千円	1,970千円